

環境省主催 令和5年度
自然資源を活用した
上質なツーリズムの実現に向けた人材育成支援事業
《研修参加のしおり》

※本研修会は、（公社）日本環境教育フォーラム（JEEF）と一般社団法人日本エコツーリズム協会（JES）が、環境省より受託し実施します。

内容

このしおりについて	2
1. 那須集合研修に関することについて	3
(1) 那須集合研修(11月20日(月)～22日(水))までに行っていただくことチェックリスト	3
(2) 会場・アクセス・集合時間	4
(3) 集合研修について	5
(4) 参加にかかる費用とご納入	9
(5) 宿泊・食事等について	10
(6) 参加地域と参加者プロフィールの作成	11
2. 本研修事業全体に関することについて	12
3. 運営事務局の連絡先	18

このしおりについて

この度はご参加ありがとうございます。

この「研修参加のしおり」は、前半が11月20日（月）～22日（水）まで実施する集合研修の参加に関するご案内、後半が本研修事業全体に関するご案内となります。必ず参加される皆様に共有の上、各自ご一読いただくようお願いいたします。

【重要】

応募フォームにおける「ウ 研修参加者について」に記載いただいたメンバーが2泊3日の那須の研修にフル参加いただく前提で宿泊等の手配を進めております。

都合等によりやむを得ず参加や宿泊の期間に変更が生じる場合は、P.4にて説明する宿泊手配に関するアンケート（Google フォーム）にて11月14日（火）までその旨お知らせ下さい。

※振込み後のキャンセルについては返金できませんのでご了承ください。

1. 那須集合研修関することについて

(1) 那須集合研修(11月20日(月)~22日(水))までに行っていた
くことチェックリスト

- (全員) 集合研修のしおり(この冊子)の確認
- (全員) オンラインでの事前ヒアリング(個別に日程調整)
→P. 14
- (全員) 事前自己学習(動画)の視聴(研修当日まで)
→P. 15
- (必要な方のみ、個別) 参加にかかる費用の受領証の発行依頼
→P. 9
- (全員、代表者がとりまとめて) 宿泊手配に関するアンケートへ回答(11/14まで)
→P. 4
- (全員、代表者がとりまとめて) 2日目(11/21)選択科目の登録(11/15まで)
→P. 5
- (原則代表者がとりまとめて) 集合研修参加にかかる費用の納入(11/17まで)
→P. 9
- (代表者がとりまとめて) 「地域紹介シート、参加者自己紹介シート」の作成・提出(11/17まで)
→P. 11

(2) 会場・アクセス・集合時間

➤ 会場

ホテルサンバレー那須 アネックス館 飛翔の間

【住所】〒325-0392 栃木県那須郡那須町湯本 203 【電話】0287-
※研修会場では、wifi 及び PC 用電源が利用できます。

➤ アクセス

公式ホームページアクセス情報

<https://www.nasu3800.co.jp/access/>

【公共交通機関・送迎バスでお越しの場合】

東北新幹線那須塩原駅から会場へ専用貸し切り送迎バスを運行します

送迎バス利用の希望はチームの代表者がとりまとめて「[宿泊手配に関するアンケート](#)」

(Google フォーム)にてお申し込みください(11月14日(火)までに)。

行き 11/20(月) 11:30 那須塩原駅西口ロータリー 巻狩鍋前 集合

(東京方面からは 10:12 東京駅発→11:20 那須塩原駅着 やまびこ 207 号が便利です)

帰り 11/22(水) 研修会終了後に那須塩原駅まで送迎いたします。

(東京方面への 17:03 那須塩原駅発→18:16 東京駅着のやまびこ 216 号をご利用いただけるようにお送りいたします)

【お車でお越しの場合】

無料駐車場をご利用いただけます。

当日 11 月 20 日(月)は受付時間 12:00-12:50 の間に必ずお越しください。

(3) 集合研修について

➤ 持ち物

筆記用具

各自、宿泊に必要なもの

(※アメニティは、浴衣、歯ブラシ、ハンドタオル、バスタオルがございます)

防寒着、雨具、トレッキングシューズ、帽子、サブバック

(※2日目午前中に野外活動(森のガイドウォーク)を行う予定です。十分に暖かい装備、舗装されていない箇所を歩ける靴をご用意ください。)

服装の参考：<https://nasuheisei-f.jp/preparation>

(推奨) PC、タブレット等 配布資料を閲覧できる端末

(必要な方は) 1日目の昼食

なお、ホテル内カフェ「アリアデリ」で食事ができます(テイクアウトなし)。

<https://www.nasu3800.co.jp/cuisine/lunch.php>

施設内の売店は、お弁当のご用意はありません。お弁当持参の場合は、研修会場「飛翔の間」をご利用ください。

➤ 選択科目の申し込み

11月21日(2日目)午後開催する選択科目のご希望は、参加者がお一人ずつ、予め運営事務局までお申し込みください。入力の〆切は11月15日(水)です。

➤ 資料の配布について

資源節約の観点から、集合研修では、原則として講義資料等を紙で印刷しての配布はございません。ダウンロードができる資料は、講義開始前までに事務局からデータで共有させていただきます。可能であればチームのお一人が、ノートPCやタブレットPCを持参することをお勧めいたします。

もし事後配布になる場合は、ご連絡いたします。

<集合研修で使用する資料のダウンロードはこちら>

➤ 研修スケジュール

※カリキュラム・時間については若干変更の可能性があります。

※都合により講師が変更になる場合もあります。予めご了承ください。

1 日目

	講義番号	項目	会場	担当
12:00	1:00	受付、チェックイン	サンバレー那須 アネックス館 入口	
13:00	0:05	開会、主催者挨拶	サンバレー那須 アネックス館 1階 飛翔の間	
13:05	0:10	オリエンテーション		事務局
13:15	0:10	環境省、講師、スタッフの紹介		
13:25	0:20	アイスブレイク		川崎 直
13:45	0:30	18 ガイダンス、環境省の最近の取組(地域循環共生圏、満喫プロジェクト、上質な 観光、コンテンツガイドライン含む)※国立公園満喫プロジェクト人材育 成研修の全体像の紹介		環境省(川瀬補佐)※要確認
14:15	0:10	19 研修のカリキュラム		事務局
14:25	0:10	休憩		
14:35	0:45	20 エコツーリズムによる観光地域づくり		江崎 貴久
15:20	0:10	PKT(パチャくチャタイム)、質疑		
15:30	0:10	休憩		
15:40	0:20	21 感動と学びにつながるインタープリテーションの基礎		鳥屋尾 健
16:00	0:25	22 インタープリテーション全体計画(エリア型)が地域にもたらすこと ~雲仙温 泉における事例から~		加藤 雅寛(環境省)
16:25	0:10	PKT、質疑		
16:35	0:10	休憩		
16:45	0:45	23 マーケティング視点からの観光地域づくり	府川 尚弘	
17:30	0:10	PKT、質疑		
17:40	0:10	休憩		
17:50	0:45	24 地域におけるガイドの役割	松本 毅/山崎 宏	
18:35	0:15	一日の振り返り		
18:50	0:15	お部屋にチェックイン	サンバレー那須 本館 各部屋	
19:05	2:00	夕食(交流会)	サンバレー那須 クイーンズコリーナ 5階 ピアネータ	
		懇親会(自由) 12時まで	サンバレー那須 アネックス館 1階 飛翔の間 ロビー使用 可	

2 日 目

	講義番号	項目	会場	担当
		朝食(各自・6時半からオープン)	サンバレー那須 本館6階	
8:00	0:30	那須平成の森に出発		
8:30	0:30	25 インタープリテーション計画(施設型)とその実際 那須平成の森のインタープリテーション計画について	那須平成の森フィールドセンター	古瀬 浩史/加藤 雅寛 丸子 哲平
9:00	1:30		インタープリテーション体験、室内展示の案内 10名ごとにグループ分けされる(アウトドア)	那須平成の森フィールドセンター 野外
10:30	0:30	意図開き、質疑応答(グループ別)		現地インタープリター
11:00	0:15	那須高原ビジターセンター移動		
11:15	0:15	26 ビジターセンターの概要説明 那須高原ビジターセンターをセルフ見学	那須高原ビジターセンター 小会議室	真山高士センター長
11:30	0:20		館内を自由見学	
11:50	0:50	昼食(会場の机・椅子の準備・撤収を含む)	那須高原ビジターセンター大会議室	
12:40	0:20	サンバレー那須に移動		
13:00	2:00	選択科目(移動時間含む)。参加者が自分で選ぶ科目群 ※選択科目は、関心がある内容を、自分で選ぶ。終了後に、チームでPKTを通して情報の共有を行う。 ※終了後、サンバレー那須の研修室に集合する。	飛翔の間(壁可動式/パーティションで部屋を区切る) クイーンズコリーナ内 会議室	選択科目の各クラスは、講師が分担し受け持つ。
		27.1 ・地域におけるガイド・インタープリター育成	飛翔の間① 一番奥	松本 毅、西村 仁志
		27.2 ・インタープリテーション全体計画(地域のテーマ(ストーリー)づくり)	飛翔の間② 真ん中	古瀬 浩史、鳥屋尾 健
		27.3 ・広報・情報発信	飛翔の間③ 一番手前	木村 雄志、府川 尚弘
		27.4 ・地域内の協力体制とコーディネーターの役割	クイーンズコリーナ 5階 会議室 ステラ	松田 光輝、山崎 宏
15:00	0:30	PKT(チーム内の情報共有。休憩を含む)		
15:30	0:45	28 マーケットインの視点から見た商品開発の考え方と販促概論		木村 雄志
16:15	0:10	PKT、質疑		
16:25	0:10	休憩		
16:35	1:00	29 事業経営の実際	サンバレー那須 アネックス館 1階 飛翔の間	松田 光輝/山崎 宏/鳥屋尾 健
17:35	0:10	PKT、質疑		
17:45	0:10	休憩		
17:55	0:45	30 リスクマネジメント		松田 光輝
18:40	0:10	PKT、質疑		
18:50	0:15	一日の振り返り、質疑		
19:05		夕食	サンバレー那須 クイーンズコリーナ 5階 ピアネータ	
		懇親会(自由) 12時まで	サンバレー那須 アネックス館 1階 飛翔の間 ロビー使用可	

3 日目

		講義番号	カウンセリングの日 自然保護と利用、インバウンド、行動計画	会場	担当
			朝食	サンバレー那須内	
8:15	0:15		全体写真		
8:30	0:45	31	これからの自然保護と利用のあり方		松田 光輝
9:15	0:10		PKT、質疑		
9:25	0:10		休憩		
9:35	0:45	32	インバウンドの最新動向と受入れの基礎(観光客の受入れ)		古屋 絢子
10:20	0:10		PKT、質疑		
10:30	0:10		休憩		
10:40	0:20	33	行動計画の作成とプランニング		西村 仁志
11:00	0:20	34.1	行動計画づくり(1) ・講師はテーブルマスターとして配置。		サンバレー那須 アネックス館 1階 飛翔の間
11:20	0:45	34.2	行動計画づくり(2) ・講師の個別相談会		
12:05	1:00		昼食		
13:05	2:00	34.3	行動計画づくり(3) ・講師の個別相談会		
15:05	0:20		研修全体の振り返り(アンケート記入) 少人数で共有		
15:25	0:20		講師から、一言挨拶(アドバイス)		
15:45	0:05		今後の事務連絡		
15:50	0:10		閉会式(環境省:挨拶)		
16:00			解散		

(4) 参加にかかる費用とご納入

研修参加にかかる費用（実費）は各自ご負担をお願い致します。なお、研修期間中は、原則、全員全日、研修施設にてご宿泊・お食事とさせていただきます。

➤ 参加にかかる費用と内訳

お一人様あたり **35,500 円**（税込）

1 日目	夕食	¥6,600
	飲み放題	¥3,300
	宿泊	¥6,600
	入湯税	¥150
2 日目	朝食	¥1,650
	昼食（お弁当）	¥1,100
	夕食	¥6,600
	宿泊	¥6,600
	入湯税	¥150
3 日目	朝食	¥1,650
	昼食（お弁当）	¥1,100
計		¥35,500

➤ 費用のご納入について

事前のお振込みをお願いします。（納入期限：11月17日（金）まで）

原則、チーム全員分まとめてのお振込みをお願い致します。

個人でのお振込みとなる場合は事務局 坪根（tsubone@ecotourism）までお知らせください。

※振込み後のキャンセルについては返金できませんのでご了承ください。

お振込み先

●●銀行 ●●支店

一般社団法人日本エコツーリズム協会

※恐れ入りますが振込手数料はご負担下さい

※振込人名義はわかりやすい形でご記載いただけますようお願いいたします

➤ 受領証の発行について

参加にかかる費用についての受領証の発行をご希望の場合は、個別にメールにて事務局 坪根（tsubone@ecotourism）まで下記の事項をお知らせください。

- ①日付
- ②お宛名
- ③但し書き

※原則、PDF での発行・メールでのご送付とさせていただきます。

(5) 宿泊・食事等について

チームで取りまとめの上、宿泊手配に関するアンケートにご回答ください。締め切り 11 月 14 日。

【重要】応募書類の「ウ 研修参加者について」にご記載いただいたメンバーが 2 泊 3 日の那須の研修にフル参加いただく前提で宿泊等の手配を進めております。都合等によりやむを得ず参加や宿泊の期間に変更が生じる場合は、上記のアンケートにてその旨お知らせ下さい。

➤ 宿泊について

宿泊は本館となります（研修はアネックス館 1 階で行います）

原則、相部屋のご案内となりますので予めご了承ください。

11 月 20 日（月）は、お部屋に荷物を置けるのは、講義終了後（18:50 頃）を予定していません。

貴重品は各自で管理ください（フロント預けも可）

➤ 食事について

食事は 1 日目：夕、2 日目：朝昼夕、3 日目：朝昼（計 6 食）をご用意します。

アレルギー等は上記アンケートから事前にお知らせください。

11 月 20 日（月）の昼食を持参された方は、研修会場の「飛翔の間」にて、お召し上がりいただけます。

➤ 交流会について

1 日目の夕食時に交流会を開催致します（飲み放題付）。

お持ち込み自由ですので、地域の自慢の品々やお飲み物をぜひご持参ください

➤ 売店について

本館 2 階に売店がございますので、ご利用ください。（21 時まで営業）

徒歩 15 分のところにコンビニがございます（セブン-イレブン 那須一軒茶屋店）

その他詳細については、ホームページ <https://www.nasu3800.co.jp/> をご覧いただくか、または事務局 坪根 (tsubone@ecotourism) までお問い合わせください。

(6) 参加地域と参加者プロフィールの作成

▶ 参加地域

番号	都道府県	参加地域（チームの代表となる組織）	研修での呼称
1	北海道	中核都市函館生活・観光圏（Donan 自然学校プロジェクト）	道南
2	山形県	酒田市・鳥海国定公園エリア（一般財団法人酒田 DMO）	酒田
3	山形県	小国町（特定非営利活動法人 飯豊朝日を愛する会）	小国
4	栃木県	那須塩原市（一般社団法人那須塩原市観光局）	那須
5	埼玉県	飯能市（一般社団法人奥むさし飯能観光協会）	飯能
6	長野県	松本市奈川（株式会社ふるさと奈川）	松本
7	岐阜県	高山市朝日町（飛騨あさひ観光協会）	高山
8	長崎県	雲仙市（一般社団法人雲仙観光局）	雲仙
9	熊本県	天草市（合同会社シマノタネ）	天草
10	鹿児島県	出水市（出水市役所）	出水
11	沖縄県	石垣市（石垣市役所）	石垣

▶ 地域紹介シート、参加者自己紹介シートの作成

事務局から「地域紹介シート、参加者自己紹介シート」のフォーマットをお送りします。メンバーに展開いただき、代表者が取りまとめて11月17日(金)までにメールにて事務局 (kobori@jeef.) までお送り下さい。

なお、このプロフィールは参加者全員に共有いたします。個人情報公開できる範囲でのご記入で結構です。

2. 本研修事業全体に関することについて

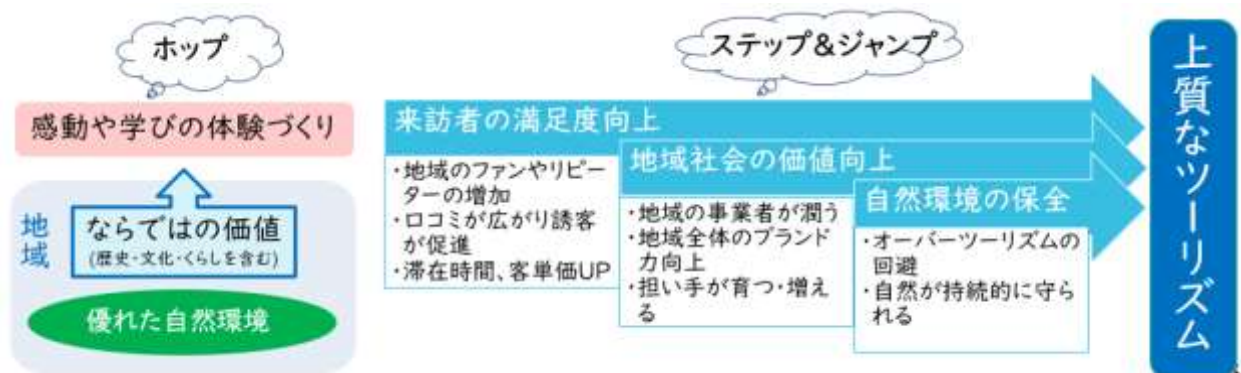
(1) 研修の全体目標

本事業は、研修参加者が、①自然資源を活用した上質なツーリズム（※注）の考え方を理解し、それを実現するための鍵となる知識、視点を得ること、②それぞれの地域・拠点での課題を的確に把握し、効果的な取組を行動計画に落とし込み目標を設定できること、を研修目標としています。①、②を達成することで、将来的には、国立公園をはじめとした自然地域等において上質なツーリズムを実現する体制が地域に構築されることを目指しています。

下表は、本事業の目標を短期・中期・長期に分けて明示したものです。研修参加の成果物である行動計画を、研修参加後に各地域で実行することで、3～5年後を目処に達成されると期待される目標を中間目標とし、概ね研修参加10年後を目処に達成されると期待される目標を上位目標として位置づけています。

研修事業実施目標		指標
上位目標 (概ね10年後)	自然資源を活用した上質なツーリズムを、地域で実現する体制が構築される。	・行動計画が地域に面的な広がりを見せている。 (協議会の設立、事業者等が連携してのツアー商品化等)
中間目標 (3～5年後)	研修を通じて作成した行動計画が進展する。 または、状況の変化に応じ改訂が行われる。	・行動計画の一部または全部に進展がみられる。 ・必要な場合、行動計画が見直される。
研修目標 (今年度)	① 自然資源を活用した上質なツーリズムの考え方を理解し、それを実現するための鍵となる知識、視点を 得る ② それぞれの地域・拠点での課題を的確に把握し、効果的な取組を行動計画に落とし込み目標を設定できる	・研修参加者に上質なツーリズムの考え方（エコツーリズムやインタープリテーションに関する考え方を含む）が理解される。 ・その実現に必要な「知識」「視点」が理解される。 ・研修参加者によりそれぞれの地域・拠点での効果的な取組が行動計画に落とし込まれる。

「自然資源を活かした上質なツーリズム」とは、地域の優れた自然環境を守りつつ、それを基盤としてその土地の暮らし・歴史・文化を含む地域ならではの価値に基づく感動や学びの体験を提供することで、来訪者の満足度向上、地域社会の価値向上及び自然環境の保全に寄与する観光のあり方です。（下図イメージ）



研修のカリキュラム

集合研修は、(1)に記載した【研修目標】の達成に向け、成果1と成果2の2つを設定し、下表のカリキュラムで構成しています。特に成果1につながるカリキュラムは、上質なツーリズムを達成するために鍵となる要素である「自然環境の保全」、「地域ならではの価値」、「感動や学びの体験作り」、「来訪者の満足度向上」、「地域社会の価値向上」について、それぞれ該当する箇所に記載しています。

研修目標を達成するための具体的な成果(アウトプット)	成果を達成するためのカリキュラム		
成果1 自然資源を活用した上質なツーリズムを実現するための知識と視点を理解する	方法	番号	
1 地域ならではの価値	VTR	2	自然を守るしくみと地域づくり
	VTR	5	地域の宝探しとテーマづくり
	生	20	エコツーリズムにおける観光地域づくり
2 感動や学びの体験作り	VTR	6	インタープリテーションって何だろう？
	VTR	10	インタープリテーションの様々な道具や手法の紹介
	VTR	11	インタープリテーションのプログラム・デザインの手法
	VTR	12	自然解説の組み立て
	生	21	感動と学びにつながるインタープリテーションの基礎
	生	24	地域におけるガイドの役割
3 来訪者の満足度向上	VTR	7	自然体験活動におけるリスクマネジメントの基礎
	VTR	16	安全管理
	生	27_1	(選択)地域におけるガイド・インタープリター育成
	生	30	リスクマネジメント
	生	32	インバウンドの最新動向と受入れの基礎
4 地域社会の価値向上	VTR	8	アメリカ国立公園のインタープリテーション
	VTR	9	テーマに基づいたインタープリテーション
	VTR	13	マーケティング・販売戦略について
	生	22	インタープリテーション全体計画(エリア型)が地域にもたらすこと
	生	23	マーケティング視点からの観光地域づくり
	生	27_2	(選択)インタープリテーション全体計画づくり(地域のテーマづくり)
	生	27_3	(選択)広報・情報発信
	生	27_4	(選択)地域内の協力体制とコーディネーターの役割
	生	28	マーケットインの視点から見た商品開発の考え方と販売促進
5 自然環境の保全	VTR	4	エコツーリズム概論
	VTR	14	日本の自然環境の価値と意味
	VTR	15	自然保護・モニタリング
	生	31	これからの自然保護と利用のあり方
6 その他(全体)	VTR	1	研修のねらいと全体像
	VTR	3	本研修で身につけたい知識と視点
	生	18	ガイドンス、環境省の最近の取組
	生	19	集合研修の全体像
成果2 知識を体験的に学ぶ機会を通じて理解が深まる (ワーク形式、アクティブラーニング形式)	生	25	那須平成の森フィールド、館内体験
生	26	那須高原ビジターセンター、館内体験	
VTR	17_1~4	参加者の声(実践者の体験談)	
成果3 行動計画が作成されると共に参加者同士の学びあいが行われる	生	33	行動計画の作成とプランニング
生	34_1~3	行動計画づくり	
オンライン	35	行動計画発表会、講師及び受講者からのフィードバック	

(2) 事前ヒアリング (受講決定後～11月17日までの間で実施)

オンライン (zoom) で行います。運営事務局では、応募フォームの希望日時を参考に、参加地域と講師のスケジュール調整をいたします。事前ヒアリングは約1時間を予定しています。応募フォームに書かれた内容の確認、目指したい地域の姿、集合研修に向けた質問等、お伺いいたします。

<zoomのダウンロードがまだの方へ>

※研修で使用する端末 (PC等) に、zoomのソフトウェア (ミーティング用 zoomクライアント) を事前に (最新バージョン: 5.16.6以上) インストールしていただく必要があります。事前に、当日利用する端末から、ZoomのURLにアクセスし、案内に従ってインストールお済ませ下さい。(最大で15分ほど要します)

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

※ダウンロード済の方も、最新バージョンにアップデートを済ませておいて下さい。

(3) 自己研修（動画）

事前にご覧いただく動画（順不同で研修当日までにご視聴下さい）

No.1、No.2の公開は、11月16日頃を予定しています。

NO.	講義番号	タイトル	時間	担当	概要
1	1	研修のねらいと全体像	15	環境省	上質なツーリズムを実現するための鍵と本件研修のねらい（ET・IPの位置づけ含む）、求められる人材、その育成指標、研修の全体像を理解する。
2	2	自然を守るしくみと地域づくり	15	環境省	自然公園法、エコツーリズム推進法、各種条例などのしくみ、国立公園満喫プロジェクトや地域循環共生圏とは
3	3	本研修で身につけたい知識と視点	5	事務局	集合研修のカリキュラムは「参加者が知識と視点を持つ視点」から構成されています。その解説をいたします。
4	4	エコツーリズム概論	28	海津 ゆりえ	エコツーリズムの起源と成立、日本への導入についての歴史的背景を理解する。
5	5	地域の宝探しとストーリー作り	30	海津 ゆりえ	地域ならではの資源や価値を探し、それらをもとに来訪者に望まれる体験を整理し、メッセージのあるストーリーを紡ぎ出すことでワンランク上の感動体験を届けられることについて紹介する。プロダクトアウトの視点のみならず、マーケットインの視点も加味しつつ取り組みの重要性についても触れる。
6	6	インタープリテーションって何だろう？～その魅力と活用方法～	32	古瀬 浩史/川嶋 直	インタープリテーションとは何か、その魅力と可能性について理解する。IP全体計画を作らなくても今日から取り組めることがあると気づいていただきたい。IP全体計画は、さらにインナーブランディングと来訪者の満足度向上に貢献することを理解する。
7	7	自然体験活動におけるリスクマネジメントの基礎	20	佐藤 初雄	リスクマネジメントの全体像を知り、基礎を学ぶ。現場で押さえるポイントを取り上げる。
			145	約2.5時間	

事後視聴の動画。可能な方は集合研修の前にご覧ください。

※アメリカ国立公園のインタープリテーション、参加者の声は12月初旬～中旬頃公開予定。

8	8	アメリカ国立公園のインタープリテーション	20	古瀬 浩史/古屋 絢子	アメリカの国立公園のインタープリテーションを紹介する。 ※地域にインタープリテーションを取り入れようとしている地域は、見て欲しい。
9	9	テーマに基づいたインタープリテーション	10	古瀬 浩史	アメリカ型のインタープリテーションの基本となっている「テーマを基にしたインタープリテーション」を紹介する。
10	10	インタープリテーションの様々な道具や手法の紹介	43	古瀬 浩史/鳥屋尾 健/川嶋 直/古屋 絢子/西村 仁志	インタープリテーションの様々な道具や手法を紹介。インバウンド対応のための道具についても触れる。
11	11	インタープリテーションのプログラム・デザインの手法	22	川嶋 直、古瀬 浩史	参加者を迎えて「こんにちは」から「ありがとうございました」までの間をどのようにデザインするかを学ぶ（プログラム・デザインとは「時間設計・空間設計・関係性設計」のことを指す）。
12	12	自然解説の組み立て	30	松本 毅	
13	13	マーケティング・販売戦略について（オンラインでの販売促進の基礎）	62	木村 雄志	オンライン販売の意義、全体像の整理、取り組みのステップ、効果的な販促素材の作成、顧客管理の基礎について学ぶ。
14	14	日本の自然環境の価値と意味	30	田中 伸彦	日本の自然の特徴を概観する。
15	15	自然保護・モニタリング	30	横山 隆一	エコツーリズムに携わるものに必要となる、保護保全とモニタリングの基礎的な知識（基本的な考え方、生態系サービス、モニタリングの基礎）を提供する
16	16	安全管理	30	木村 雄志	現場での安全管理について、催行側・バイヤー両方の視点から考える
17	17_1	参加者の声	5	事務局取材	これまで集合研修に参加した地域から、研修で学んだこと、現在取り組もうとしていること等を伺います。
18	17_2	参加者の声	5		
19	17_3	参加者の声	5		
20	17_4	参加者の声	5		
			297	約5時間	

【動画のプレイリスト】

(5) 行動計画の発表会

(zoom) 12月12日(火) 10:00~17:00 (入室開始 9:45)

トピック: 行動計画の発表会

時刻: 2023年12月12日 10:00 AM 大阪、札幌、東京

https:

ミーティング ID:

- ※行動計画は、集合研修後、参加地域(チーム)で話し合い、ブラッシュアップをしてください。
- ※行動計画のデータは、12月11日(月)正午までに、運営事務局宛にメールで提出下さい。原則、データでの作成をお願いします。手書きの場合は、スキャンをしてPDFデータを提出ください。提出いただいた行動計画は、「行動計画の発表会」開催前に、各参加地域(チーム)、講師、環境省で共有します。
- ※他の参加地域(チーム)の発表や講師からのアドバイスは、自分達にも参考になる情報です。発表会参加の際はお手元に各参加地域(チーム)の行動計画をデータ又はプリントして御用意いただき、メモや話し合いの場面で活用ください。
- ※発表は、原則、各参加地域(チーム)のメンバーはできるだけ一箇所に集まって参加してください。
- ※発表時は、行動計画を投影するか、若しくは別途、パワーポイント等を用意しても構いません。
- ※「行動計画」の発表時間は、10分間/地域です。発表後、コメントや質疑の時間を5分/地域設けます。
- ※発表に対するフィードバック(発表に対するコメント)は、発表を聞いている全員(環境省や講師も含む)から寄せていただきます。Google formを使用します
zoomで使用している端末とは別に、各自のパソコンやスマートフォン等から入力してご送信いただきますので、お一人様一台ずつご用意ください。(オンラインでの回答が難しい場合は、運営事務局までお知らせください)

(6) 講義の録画

集合研修の講義や、行動計画の発表会は録画をさせていただきます。研修終了後に編集し、講義動画のプレイリストに公開する予定です。公開は1月末までの予定です。

(7) 事後アドバイザー派遣

アドバイザー(講師)が現地を訪問し、行動計画のアドバイスをいたします。アドバイザー(講師)のリクエストや開催希望日時は、後日、運営事務局からお尋ねいたします。開催期間は12月中旬~2月中旬を予定しています。

(8) レポートの提出

年度内に、進捗のレポートを提出してもらいます、ご質問の項目は①～④の予定です。ボリュームは、計 A4 で 1～2 枚程度の想定です。締切り等の詳細は改めて御案内予定です。

- ①本事業参加前に抱えていた課題
- ②本事業を通して（または本事業をきっかけに）、これまでに行った取り組みや、得られた成果
- ③今後予定されている取り組み
- ④今後の取り組みに際しての課題

(9) その他

次年度以降の本事業改善に向け、事業評価アンケートにご協力いただきます。詳細は集合研修会場で御案内します。

3. 運営事務局の連絡先

研修に関するお問い合わせは下記事務局までお願いします。

公益社団法人日本環境教育フォーラム（JEEF）担当：小堀

〈電話〉03-5834-2897 〈メール〉kobori@jeef

夜間・土・日・祝の緊急時は携帯 090-

一般社団法人日本エコツーリズム協会（JES）担当：坪根

〈電話〉090-（携帯）〈メール〉tsubone@ecotourism

（事前の振込、宿泊、食事、バスの乗車については、こちらにご連絡ください）